



# 伊豆の国市 議会だより

2007年2月1日発行  
No. 6

編集：伊豆の国市  
議会だより特別委員会  
〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340-1  
☎055-948-1417 FAX 055-948-2913



消防団出初式の一斉放水

## 12月定例会

一般質問 .....	2
委員会報告(18年度補正予算・ほか).....	8
議案一覧 .....	12

議員の問いと  
行政の答え



# 一般質問

一般質問は11名が行い、当局の考え方をたどしました。

**いじめ・不登校の  
実態と対策は**  
古屋 鋭治

**問**  
いじめによる自殺が大きな社会問題となっていて

いじめ撲滅のため子供の発するシグナルに耳を傾け、教育委員会、学校、保護者、地域が連携して取り組む必要がある。また不登校もいじめ同様大きな問題である。教育委員会の見解と対策は。

**答**  
いじめは決して許されないことであるが、ど

この学校、どの子供にも起こりうる問題と認識している。未然防止策は、教師が子供に温かい言葉を掛け、授業、行事、特別活動を通じ学級の支持的風土作りに努めている。また、早期発見のために各学校でいじめの有無・悩みや人間関係でのトラブルのアンケートを行い、学級担任中心に相談活動を行っている。当市の不登校率は全国・静岡県平均より高く、今年度の重要課題として取り組んでいる。

**問**  
小中学校のいじめ・不登校件数、率の把握は。

**答**

伊豆の国市のいじめの件数

	17年度	18年度
小学校	2件	0件
中学校	4件	3件

17年度の不登校率 30日以上欠席

	全国	静岡県	伊豆の国市
小学校	0.32%	0.32%	0.59%(17人)
中学校	2.75%	2.67%	4.92%(69人)

葦山の改善センター

社交ダンス利用について

**問**  
葦山で社交ダンス講座が開設され、改善センター利用を役所が認めてきた。

十八年十月から突然のダンス



ダンスを楽しむサークルの皆さん

シューズ使用禁止は理解しがたい。ダンスは健康増進にもつながる。関係者と話し合い、妥協点を探るべきでないか。

**答**  
改善センターはヒールを履いての圧力に耐えられない床であるが、初期のダンスを始めるとき認めた。床のはがれの原因と考えられ、他の会場を紹介させていただいている。ダンスは健康に役立つと理解している。シューズ許可を前提でないが、再検討する。

市道葦一三三号線葦山中央道の都市計画決定道路について  
鳥居松彦

**問**  
市道葦一三三号線は現状でも生活道路として不便であるが、将来はより一層の渋滞が予想される。それは、国道一三六号線の拡幅工事、伊豆縦貫道路の新設工事、国道四一四号線の計画、東駿河湾環状道路工事などの開始や進捗などによって、現在より車の交通量

が格段に増加すると思われるからである。従って生活道路としての安全性は都市計画の全体性を考慮しつつ確保される必要がある。尚、市道葦一三三号線はその両端の整備がなされていない現状を考えれば、可及的速やかな対策が必要と思われるので、次の質問をする。

当市の総合交通体系について。市道葦一三三号線の都市計画決定道路としての位置づけ。

**答**  
市道葦一三三号線の函南町側との接続について。

南条踏切の改良工事について。国・県と協議しながら総合交通体系の向上に努力したい。

都市計画マスタープラン策定中の交通施設の方針として、総合計画や旧町都市計画マスタープラン、今年度策定の東駿河湾都市圏長期交通計画等を参考に検討する。

函南町は、市道葦一三三号線沿いの両側にある排水路の処理が必要と考えているので、

周辺地区の排水整備を地元  
の了解を得て進めていくつもり  
である。

道路構造令に基づく改良を  
進めているので、大型バスの  
出入りや交差等には問題がな  
いと考えている。



市道葦2-3号線（南条橋から北を望む）

### 公共下水道の 指定地域外地区の 排水対策について

鈴木平一郎

問

公共下水道の指定地域  
外地区の排水対策につ  
いて、市は具体的にどのよう  
な方針で取り組んでいくので  
しょうか。

答

静岡県生活排水処理長  
期計画の作成に伴いま  
して、旧三町において計画さ  
れております。この計画にお  
けるメニューについては、国  
土交通省の公共下水道、農林  
水産省の集落排水、環境省の  
コミュニティブランドなど  
の方法で、区域外の生活排水  
に対応することとされており  
ます。これは、現在伊豆の国  
市に引き継がれておりまして、  
今後実施計画を樹立する場合  
には、これを基本としていく  
ことになっております。この  
様に三つの制度がある訳です  
が、集落排水については、処  
理施設及び後々の管理業務な  
どの負担があり、大型の合併  
処理浄化槽を設置した方が有  
利とのことです。

葦山大仙地区

特養ホーム建設について

問

特別養護老人ホームの  
建設について場所決定  
後、事業のおくれている理由、

答

さらに今後どう取り組んでい  
くのか。

伊豆の国市と沼津市に  
特養を計画し、一法人  
が単年度に二つの整備を行うこ  
とは、自己資金の面から無理と  
いう県の指導で、社会福祉法人  
大乘会が、伊豆の国市内での計  
画を辞退する報告がありまし  
た。今後の方針は、再度特養整  
備希望事業者を募り、厳密な審  
査を行い、事業者を決定し、で  
きれば平成十九年度整備案件に  
取り上げていただけるよう県と  
協議していきます。

### 災害時におけるボラン ティアの育成について

伊藤泰伊

問

日本各地で自然災害に  
よる被害が多発してい  
ますが、大規模な災害が発生  
した場合、被災地の地域内  
の助け合いだけでは対応が問  
に合わないことが多く、災害  
被災地の復旧を効果的に進め

ていくために、行政としては、  
ボランティアを育成支援して  
いく必要があるのでは。今後  
の育成計画や災害時の連携体  
制についての考えは。

答

伊豆の国市地域防災計  
画に、一般対策編「ボ  
ランティア団体の組織化と推  
進及び啓発」、地震対策編「ボ  
ランティア活動への支援」が  
明記されており、被災地等の  
経験を生かし、地域防災会の  
協力を初め、伊豆の国市にお  
いても実践に即した災害ボラ  
ンティアの育成や組織づくり  
と行動計画の確立につい  
て、社会福祉協議会と連携  
を密にし、努めてまいりた  
い。

問

ボランティアは自  
給自足で、長期に  
わたる資金面での不自由も  
生じ、市外から駆けつけて  
くれた宿泊も一般の宿泊施  
設では限度があり、災害ボ  
ランティア基金をつくる必  
要があると思うが。

答

基金づくりという問題  
等につきましては、実  
際にそういうものが必要にな  
るか、ならないかというのは  
難しい問題であり、検討して  
みたいと思っています。

問

障害者自立支援法が制  
定施行されたが、当事  
者の負担が増えた。何らかの  
減免措置が必要ではないか。

答

市独自の減免措置は、  
周辺市町と足並みをそろ  
えながら前向きに考えたい。



災害時頼りになる消防団



## 観光案内表示と サイン計画について 土屋源由

**問**

「伊豆の国市」に誘導する案内表示板はほとんど見かけないが、市として対策を考えているのか。また、国際的な観光交流の時代、標識に外国語の表示なども取り入れるべきと思うが、どのような対策を考えているのか。市で管理する案内板や表示板はどの位あり、どの様に管理しているのか。これらを総括するサイン計画はどつするののか。

**答**

市としても、観光客の皆様を目的地的に的確に誘導することは、観光立市として最低限必要不可欠のサービスと考えますので、市内の観光サイン計画とも絡め観光協会や旅館組合等の関係者に意見を伺いながら、実態把握を行った



「伊豆の国市」って入れたいな

上で県への要望など今後必要な措置を講じたいと考えています。

また、看板への外国語併記については、国の進めているデジタル・ジャパンによるものにより外国人観光客が増大することが予想されますので、これらの外国人観光客を取り込み、積極的に誘客を行うために、今後設置する案内看板には英語のみならず中国語、ハングル語での表示を実施する考えです。

市の管理する案内板等の数は、目的や趣旨により複数の課が設置しているため、全体の数は把握出来ていません。管理は、職員が定期的に巡回するなど点検を行っています。

総体的なサイン計画は充分検討し、伊豆の国市への誘導看板や伊豆を訪れる方に対してわかりやすい案内看板等、広域的観点から調査研究し、サイン整備計画に反映させ実現していきたいと考えています。

### 小・中学校の 一学期制導入について

山下孝志

**問**

約百年の歴史を持つ三学期制の見直しを検討され、既に二学期制が導入実施されています。静岡県下の実施状況は。

**答**

小学校が四五二校中 一一七校、約二七％。中学校二二三校中 五三校、二四％。全国的には小中とも

一〇％の導入となっています。教育長の所見は。教育委員会では検討されたか。

**答**

二学期制導入には積極的ではありません。二学期制導入か否かは教育委員会レベルの話ではなく、校長の学校経営の一つの手段です

**問**

発達障害者への支援について生活上支障があり、支援が必要な発達障害者が各種の障害サービスを受けられるよう、国の制度が創設されるまでの暫定措置として県独自の制度を設けたが、その内容は。

**答**

県は、これまで県内で診断できる医療機関が少ないことから、発達障害者に対する基準を設定できなかった。しかし、徐々に条件も整いつつあるので、特別な基準を設けて療育手帳を交付し福祉サービスが受けられるよ

う準備を進めている。

**問**

市の役割と交付基準は。

**答**

療育手帳の申請受付および、交付は市の窓口ですが、認定審査は県で実施します。発達障害者は、療育手帳のBとなります。

発達障害とは？

子供は成長・発達していく過程で、社会で生活していくためのいろいろな能力を身につけていくが、なんらかの機能障害により、精神や運動能力に偏りや遅れがある場合を言います。

療育手帳とは？

知的障害のある人が、一貫した指導や相談を受けるため、またサービスを受けやすくするために必要な手帳です。障害の程度により、A・Bの区分があります。

伊豆市・伊豆の国市  
ごみ処理施設計画の  
見直しを

田中正男

進めていきたい。

社交ダンスをしめださず

施設の有効利用を

**問**

二市で進めているゴミ  
処理施設計画は、候補  
地を伊豆市堀切に選定し、現  
在は地元区や周辺地区への説  
明の段階に来ている状況だが、  
いち早く反対する会が結成さ  
れるなど、地元や周辺からか  
なり強い反対の声や運動が起  
きている。進め方に問題があ  
ったのではないか。今後、進  
め方の考えは。

**答**

反対されている理  
由がで次第説明してい  
先進地視察も計画して理  
求めていきたい。

**問**

ゴミの減量化、炉  
型化、経費節減に  
がる生ゴミ堆肥化を推進  
価値と必要があると思っ  
生ゴミの堆肥化は  
考えている。これ

**答**

考えている。これ



葦山改善センターの大研修室

三好陽子

**問**

新たに制定された障害  
者自立支援法が十月よ  
り完全施行され、知的障害児  
通園施設などの利用者負担が  
急増し、市に補助を求める要  
請があつた。早急に負担軽減  
措置が必要ではないか。

**答**

確かに負担増ですので、  
他市町の状況等を見な  
がら歩調を合せて前向きに検  
討していきたい。

伊豆保健医療センター

**問**

公設化の検討状況は  
常勤医師が不足する事  
態があり、医師を安定  
的に確保するため、公設化を  
検討していきたいとの事では  
すが、検討状況は。

**答**

平成十八年四月から函  
南町・伊豆市・伊豆の  
国市で事務を進めてきた。医  
師派遣・運営管理委託に実績  
のある社会福祉法人地域医療

振興協会に管理受託の調査  
を依頼したところ、協会側  
から出された条件は厳しく、  
高額な費用がかかることが  
わかつた。現在、費用の減  
額に向け検討を行っている。

市営住宅増設と雨漏り対策  
を

**問**

極端に少ない伊豆長  
岡への増設の考  
えは。

**答**

各団地の老朽化や利  
便性、入居状況も考  
慮し検討することが重要と  
考えている。

**問**

三福団地の雨漏りが  
長年続いているが、  
早急に対策が必要ではないか。

**答**

調査を実施し、必要な  
箇所は修繕を行って  
いきたい。



伊豆保健医療センター（田京）

安全安心健康の  
まちづくり

後藤眞一

保健所と食品衛生について

**問**

食品衛生協会を統合し、  
東部保健所修善寺支所  
管轄にすべきでは。



大仁橋架け替え工事

市の教育行政

改良は十九年  
 工事実施の計  
 画。深沢橋架  
 け替えは県と  
 協議し進めた  
 い。田京区以  
 北への路線バ  
 スを除く大型  
 車両の規制  
 は、よく検討  
 された地域住  
 民の総意によ  
 る要望が必要  
 である。

**問**

大仁橋完成に伴う環境整備を計画されたい。

大仁橋完成に伴う

**答**  
 旧三町の食品衛生協会  
 は伊豆の国市食品衛生  
 協会として統合され、東部保  
 健所修善寺支所管轄を機会あ  
 ることに県に働きかけたい。

**答**

十九年十二月供用開始  
 予定。大型車両通行規  
 制は解除。大仁区内一方通行  
 化は広く協議の場を設け、吉  
 田区内の肋骨道路も検討した  
 い。大仁小までのグリーンベ  
 ルトは、早期に完成させたい。  
 地元要望の橋架け替え跡地  
 の利用については、県や国土  
 交通省等と協議していきたい。

**問**

行財政改革の推進状況は。

菊池俊彦

行財政改革は

広瀬交差点  
 改良は十九年  
 工事実施の計  
 画。深沢橋架  
 け替えは県と  
 協議し進めた  
 い。田京区以  
 北への路線バ  
 スを除く大型  
 車両の規制  
 は、よく検討  
 された地域住  
 民の総意によ  
 る要望が必要  
 である。

**問**

市教育行政の未来像を、  
 確かなものにする審議  
 会を立ち上げるべきでないか。

**答**

市の教育課題は、安全  
 で安心な教育環境の充  
 実と、魅力ある園・学校づく  
 りである。

**答**

昨年度、市行財政改革  
 推進本部と行財政改革  
 推進委員会を設置し、改革大  
 綱や集中改革プランを作成推  
 進中。平成十七年度を起  
 点に五カ年計画としている。

**問**

改革大綱では職員の資  
 質向上と意識改革を不  
 可欠としているが、具体的  
 な推進方法は。

**答**

有効な手段と認識して  
 いる。運用を図ってい  
 きたい。

**問**

各種研修会の実施や人  
 事評価制度が有効と認  
 識し、基本となる目標管理手  
 法の構築に向け試行している。  
 業務提案制度の導入は。

**問**

十九年度予算の基本的  
 な考え方は。



国民文化祭とは？

日頃行なっている文化活動を全国的な規模で発表、競演、交流する国内最大のイベントです。



成年後見人制度とは？

判断能力が不十分な方が安心して日常生活が送れるよう、本人を保護し支援する制度です。

議員





**答** 一般会計で八億円程度  
の減額を考えている。  
地区要望等、諸問題に積極  
な取組みを考えていきたい。

国民文化祭について

**問** 平成二一年に静岡県で  
開催されるが、概要は。

**答** 当市では、十九年度に  
実行委員会組織を立上  
げ概要を決定していく。

**問** 各種イベン  
ト・開催地へ  
のエントリー予定は。

**答** 現在演劇とオ  
ペラで県と調  
整中。  
成年後見人制度につ  
いて

**問** 高齢者を巻き  
込んだる犯罪  
や事件が多発してい  
る。本制度の利活用  
を積極的にPRする  
必要があるのでは。

**答** 今後、広報  
等を利用し周

知徹底を図る。

**問** いつでも相談できる市  
民相談窓口の設置は。

**答** ボランティアを中心と  
した、無料相談窓口の  
開設を考えていきたい。



市民オペラ上演

新幹線三島駅

上下線六時始発と  
ひかり号・深夜便の増発を  
秋田 清

**問** 富士山静岡空港開港に  
あわせて、新幹線上下  
線三島駅六時始発と、現行の  
始発便との間等にひかり号の  
増発、加えて深夜便の増発を  
要望する。県当局や周辺自治  
体・JR東海等と協議がなさ  
れているのか状況を説明願  
いたい。中部地区では自治体な  
ど一六一団体が要望している  
が。

**答** 新幹線増発については、  
近隣六市四町で広域的  
かつ継続的な要望活動を続け  
ている。富士山静岡空港の開  
港も視野に入れ進めたい。

伊豆箱根鉄道

**問** 快速・深夜便運行を  
昨年一年間の伊豆箱根  
鉄道の鉄道利用者は、  
二二四一万人で、伊豆市、伊

豆の国市、函

南町で全体の  
五〇%を占め  
ている。遠方  
からの利用者  
の便宜を計る  
うえで、快速  
電車の運行  
と、三島駅発  
最終電車を一  
時二五分へ  
の変更を要望  
できないか。

**答** 伊豆  
箱根  
鉄道へも広域  
的な問題として今後検討要望  
していきたい。現在、伊豆長  
岡駅での新幹線の券売機の設  
置を要望している。今後も利  
便性を高めていくことが必要  
であると考え。

**問** 大仁水道水源の水を伊豆の国  
まちおこしブランドとしては  
一市三制度の水水を有  
効利用し、特に下畑・

**答** 伊豆の国市という市名  
を何らかの形で発信す  
ることは、観光事業をはじめ、  
地域の発展に貢献できるもの  
と考える。非常用備蓄水につ  
いても検討していきたい。



東海道新幹線三島駅

# 委員会の報告

12月定例会では、一般会計補正予算(第5号)安全で安心なまちづくり条例の制定、第一次伊豆の国市総合計画基本構想、静岡県後期高齢者医療広域連合の設置及び規約制定、長岡温水プールの指定管理者の指定など、9議案について各常任委員会に付託され審査しました。

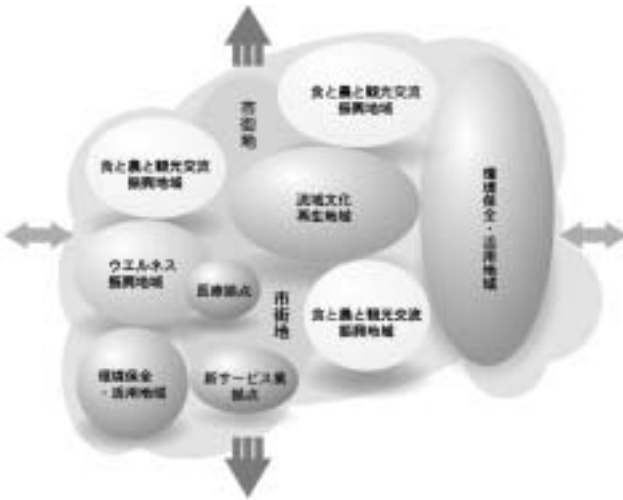
## 総務委員会

### 平成十八年度一般会計

#### 補正予算について

決定された事業は、庁舎別館維持管理事業での借上料、電算センター負担金、図書館運営事業のリース分などで事業の減はないが、事業の見直しの決定に伴う合併特別交付金が減となったと説明があった。すでに合併にかかわる経費として、交付された事業予算は、十六年度一億八千四百万円・十七年度一億八千八百万円。そして、十八年度一億三千三百万円の事業が決定したとの説明があった。

消防自動車更新事業では、三ツ車とし地元の寄付は求めないで、市が購入したものを使用することが決ま



総合計画の土地利用イメージ図

った。今回の補正額二百二十五万円は、備品購入費の増額であるとの説明があった。

以上付託された一般会計補正予算は、委員全員が賛成であった。

### 伊豆の国市安全で安心なまちづくり条例の制定について

この条例は、旧三町にあった「生活安全条例」に変わるもので、伊豆の国市民が安全で安心に暮らし、未来を担う

子供たちを健全に育むため、市・市民・事業者が一丸となり、犯罪や交通事故からの被害を未然に防ぐ環境づくりに心がけ、良好な環境を形成するために制定するものであるとの説明であった。

旧三町には、生活安全条例があり人権擁護にも配慮するとい

うことがあったが、との問いに、平成十四年準則に基づいた形のもの大仁警察署管内が作成し、そのあと三島警察署管内の二町が提出したものです。市の施策の中で条文を組み立ててあり、人権擁護のことは特定して

いないが、目的・理念は市独自のものを明確にしているとの回答であった。

### 第一次伊豆の国市総合計画

#### 基本構想について

近年、地方分権の推進、財政事情の悪化、少子高齢化の進行など、社会情勢の急速な変化を背景に、地方自治体において、新たなまちづくり

への対応が求められています。

特に、財政健全化は国、地方ともに早急に対応すべき課題となっており、国の補助金負担金の見直しや税源移譲などの「三位一体の改革」により、地方自治体の一層の経費の削減と効率的な行政運営が不可欠となっています。

また、東海地震をはじめとした防災対策や地球規模の環境問題などの取り組みのほか、地域福祉・教育・生活環境などの面で、住民と行政が「協働」して取り組むことの重要性も高まっています。

伊豆の国市が誕生し市制施行後、初めての策定となる本計画は、合併時に策定した新市まちづくり計画を基本とし、平成十九年度から平成二十八年度を計画期間に新たな市の将来像と市政運営の基本方向を明らかにするものです。以上が、策定の趣旨です。本案の賛否をはかったところ、賛成多数でした。



福祉環境委員会

平成十八年度

一般会計・介護保険

補正予算について

**問** 一般廃棄物処理対策委員会の委員構成と開催回数。

**答** 委員は十名で、月一回の開催とし、全体で三回の予定です。委員は、区長会、女性の会、商工会、旅館組合、観光協会、総合計画策定委員会から選出予定で、広域の伊豆市の委員会との共同開催も予定しています。

**問** 長岡焼却場の粗大ごみ破碎機スクリーン交換は、来年の予定を前寄せてやるのか。

**答** 使用頻度増加で損耗が激しく軸ブレが酷いことから来年まで待てないので今年度実施するものであります。

**問** 生活保護運営事業の医療扶助が一億円も減額されているのはなぜか。

**答** 平成十六年度と十七年度の上半期の実績とその伸びにより算定しました。生活保護の医療費は公費負担十割であり、医療費の変動が月により大き

いたために、多くの予算が計上されました。

**問** 時間外手当が多いが、人員が足りないのでは。

**答** 障害者自立支援法では大変な事務量があるということであり、当初人員増をお願いしてまいりました。施設関係はまだ移行していませんが、移行する前の調査が大変時間がかかります。時間外の事務内容は、ほとんどが自立支援法に伴う事務であります。

以上で付託された案件について慎重に審査した結果、委員全員の賛成で承認することに決しました。

視察研修報告

十月二十四日、二十五日、知的障害者福祉法に基づき、知的障害者の自立と社会経済活動への参加を促進する観点から、必要な生活支援及び作業支援を行い、知的障害者の福祉を図る事を目的とする先進地事例の、福島県福島市の

知的障害者施設「おぞらの夢」と授産施設「はばたき」を視察しました。

次に、食品残さを堆肥化し有機農業に取り組み環境保全型農業を取り組んでいる先進地、二本松市の、JAみちのく安達二本松有機農業研究会、岳温泉旅館協同組合、安達郡大玉

村の国分農場を視察しました。平成十年から取り組んできた食品残さのリサイクル事業による有機野菜等、地元食材を取り入れた旅館料理が成果を上げ始めているそうです。取り組みの特徴としては、畜産農家で堆肥製造を手がける国分農場が中心となり、旅館組合の食物残さと畜産農家の糞尿を堆肥化、有機農業研究会でその堆肥を利用して点であり、有機物の地域循環が成立している。業種を越

えて人と人をつなぐ環境リサイクル事業のキーワードは、「食品残さも立派な観光資源」「次の世代、生命に安全な食べ物」「顔の見える関係づくり」「充分な分別意識」「人材、組織資源活用」「旬一品」など、新しい地域開発の関係作り地域産業の活性化に努力している様子が伺われました。最後に、茨城県築西市の築西広域市町村圏事務組合環境センターへ先進地視察を行いました。



環境リサイクルの視察（国分農場）



長岡清掃センター

## 観光建設委員会

一般会計、上水道と下水道の特別会計の補正予算について

一般会計の補正では、農林業費・商工費・土木費が所管となり説明を受け審査した。

内容の主なものは、農林業費で、柿沢川の要望活動による県事業の追加で、次年度計画の遊水池の整備とゲートの整備の前倒し事業の市の負担が増額。また、当初は未

計上で予定のなかつた新田の排水機場の排水系統調査を急ぎよ実施する調査費の負担分。

商工費では、地域観光推進事業として伊豆長岡温泉のイルミネーション設置に対



江川邸周辺

する一部を補助要綱の整備を行い補助する。また、江川邸周辺整備事業で、トイレの整備とボランティアガイドセンターを併せ、周辺の環境等を踏まえた計画図の策定を実施する。

土木費では、街路整備事業の葦二 十一号線の用地の調整がつかず、大幅な内部補正をして他の工事に振り向け追加して事業を実施する。公園

整備費では、天野公園の工事費の見直し減額分を守山西公園の執行を早めるため振り向ける。道路施設維持補修事業の増額は、道路維持補修工事や舗装工事として各自治体からの要望に対応する為の補正である。

また、上水道・下水道の特別会計では、葦山から江間へ狩野川を横断する東京電力との共同溝（高圧線と上下水道）設計の負担金が主なものであり、今回の設計は国土交通省と協議する基本設計とのことである。

以上、各補正予算を慎重に審査し、委員会として採択すべきとの結論を出した。

## 視察研修報告

十月二日から四日にかけて、まちづくり交付金事業で街の再生や地域の活力を結集して取組んでいる先進地や観光地を視察しました。

市民の活動から商店街が活気を取り戻した長浜市の黒壁

スクウェア。激減した観光客の対策も含め、市街地の活性化に向け市民が動き始めた加賀市の山代・山中温泉。都市計画道路を中止し、犬山城を中心とした城下町の再生に動き始めた犬山市。どこも商店街の活気が観光の下支えになっている状況で、

行政がバックアップし協働している様子を研修する事が出来ました。

この視察で感じたことは、長浜市、加賀市、犬山市に共通して言える事は、地域住民が真剣に自分達の住む地域を何とかしなければと考えている事。行政が脇役に徹し、地域のやる気を全面的にサポートしている事。行政と住民の協働意識が高く、情報や考え方を共有している事。それに

よりすばらしい計画が作られ、実践出来ているのではないかと感じました。特に、観光に携わる人達が前面に出るのではなく、そこに住む住民の力で地域も変わり、商店街も活性化し、お客が喜ぶ雰囲気作りをする事で自然と人が集まるのではないかと感じました。伊豆の国市民も、そろそろ行動を起こさなければいけないのかなと思いました。



市街地活性化先進地の視察（山中座前広場）

## 文教委員会

### 長岡温水プールの

#### 指定管理者の指定について

#### 業者の選定方法

申請関係五社によるプレゼンテーションを実施し、選定委員五名が管理運営、基本的な考え方、実施体制、計画、維持等の企画書の内容を審議し、それぞれポイント制にて、最高得点を上げた応募者の中から（有）伊豆スイムサポートに決定しました。

#### 業者の計画並びに期間

事業としては、子ども水泳教室、大人の水泳教室、機能改善教室、水中エアロビックス、水中ウォーク等の計画が生まれ、期間については、平成十九年四月より平成二十一年三月までの三ヶ年です。

#### 事故責任

施設自体の欠陥で損害が生じた場合には、



長岡温水プール

市に賠償義務が生じ、これは国家賠償法に定められています。指定管理者が行った維持管理補修等に原因があり、損害が生じた場合には、指定管理者に損害義務が発生します。これは民法で定められています。

報告の義務  
事業報告は、毎年度、報告書を市に提出します。

施設の利用料金  
条例で定められている料金

で、大人三〇〇円、小人一〇〇円を上回ることはないとの回答がありました。

以上のような事を確認し、指定管理者には、市民が安全で安心して利用出来るように、また、事業者の努力でサービスも低下させず、事業の推進を図ることを念願し、委員全員一致をもって承認されました。

#### 視察研修報告

今後の教育行政を推進するため、県外先進地の教育施設及びソフト事業を視察研修して来ました。今回の訪問先は、宮城県仙台市及び多賀城市でした。

#### 仙台市燕沢児童館の学童保育

この施設は、平成十八年にオープンした新しい施設で、子ども達が寄りやすく、天井の高い遊戯室があり、教室内も全バリアフリーで細かい配慮がなされ、中庭を含んだ敷地も余裕があり、子ども達には、利用し易い施設でした。

#### 仙台市

東六番丁児童館の学童保育小学校の敷地内にあり、周囲に遊び場、公園が無いので、多く利用していました。児童館の指導者は、子ども一人一人の心理を理解し、子どもの視線を大切にし、気軽に悩みや行動を把握し、学校側との連携もスムーズに行われていました。

#### 仙台市

のびすく仙台の子育て支援

この施設は、公設民営施設で、NPO法人で運営をしています。仙台駅近くにあり、特徴として、施設内での飲食が可能で、年間五万人の利用者があり、広さも遊具も十分に揃っていました。また、会員登録制で、乳幼児の一時預かりも可能で、子育てがしやすい環境を感じました。多賀城市の文化財保護市内には、四十一ヶ所の遺跡が存在し、市域の二五%が、文



燕沢児童館（仙台市）の視察

化財の包蔵地です。史跡の用地購入費も毎年二億五千万円を計上し、文化財を将来へ残す手段には莫大な費用が掛かることを認識されました。今回の研修で、子ども育成には、施設の指導者の情熱と手腕が大きな影響を及ぼし、地域と指導者が一体となり、常に前向きに、事業の推進に取組み姿勢の大切さを感じて来ました。



# 平成18年 第4回(12月)伊豆の国市議会定例会

今議会では、平成18年度一般会計補正予算を、歳入歳出予算から1億1362万7000円を減額し、総額163億7373万1000円としました。その他、特別会計の補正予算、条例の制定と改正など12議案が上程され、審議の結果すべて原案どおり可決しました。

## 飲酒運転の根絶に関する決議

交通事故のない安全で安心な社会の実現は、私たち伊豆の国市民の願いでもある。

しかしながら、関係機関・団体の懸命な努力にもかかわらず、多くの方が交通事故の犠牲者となり、悲しみや苦しみを抱えながらの生活を余儀なくされている。

こうした状況下において、本市の飲酒運転による交通事故は、今年に入って増加するなど、悪質な飲酒運転が後を絶たない状況である。

飲酒運転根絶のためには、運転者の交通安全意識の向上はもとより、同乗者、家庭や職場、さらには地域が一体となって、「飲酒運転は絶対にしない・させない」という強い意志をしめさなければならない。

よって、本市議会は、市をはじめ関係機関・団体との連携を強化し、市民と一体となって飲酒運転の根絶に向けて全力を挙げて取り組むことを決意する。

以上、決議する。

平成18年12月21日

伊豆の国市議会



## 可決承認された議案一覧

- ・伊豆の国市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定について
- ・伊豆の国市安全で安心なまちづくり条例の制定について
- ・平成18年度伊豆の国市一般会計補正予算(第5号)
- ・平成18年度伊豆の国市介護保険特別会計補正予算(第3号)
- ・平成18年度伊豆の国市簡易水道等事業特別会計補正予算(第3号)
- ・平成18年度伊豆の国市下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- ・平成18年度伊豆の国市楠木及び天野揚水場管理特別会計補正予算(第2号)
- ・平成18年度伊豆の国市上水道事業会計補正予算(第1号)
- ・第1次伊豆の国市総合計画基本構想について
- ・静岡県後期高齢者医療広域連合の設置及び規約制定の協議について
- ・伊豆の国市長岡温水プールの指定管理者の指定について
- ・伊豆の国市消防団員賞じゅつ金条例の一部を改正する条例の制定について

## 編集後記

昨年十二月十二日の「漢字の日」に世相を表す漢字として「命」が発表され、いろいろな場面で命についての話題が取り上げられました。

秋篠宮家に誕生した悠仁さまのニコースは、明るい話題でした。

一方では、いじめによる自殺や飲酒運転によるひき逃げ、虐待など失われた命の話題が後を絶ちませんでした。

いじめの問題は、昔とは違ってきているように思われます。十二月定例会でも取上げられました。どのような方法でなくすことができるのか、皆で考えるべきです。

## 議会だより 特別委員会

委員長  
副委員長  
委員

〃 〃 〃 〃 〃

古屋 鋭治  
菊池 俊彦  
伊藤 泰伊  
大沢 秀光  
後藤 眞一  
田中 正男  
三好 陽子  
柳沢 秀次